<第4404回>

目的地:東おたふく山・六甲山

担当者:淀

実施日:2023年9月3日(日) 形 式:初級ハイキング

費 用:¥1,160-参加者:15名

天 気:晴 行 程:

阪急岡本駅(8:55)→保久良神社(9:20)→金鳥山(10:00)→風吹岩(10:30)→(10:35)休憩(10:45)→(11:40雨ケ峠(11:55)→(12:15)東おたふく山[昼食](13:00)→土樋割峠(13:10)→(14:15)一軒茶屋(14:40)→有馬稲荷神社(15:45)→(15:50)有馬温泉[解散]

咸 想

残暑どころか猛暑が続いている9月最初の日曜日、駅には15名もの方が集まって、しかもベテランぞろい!私は心強く出発しました。西側からの保久良神社までの坂道は木陰の道で、思いのほか快適に歩けました。金鳥山を知らない人も多かったので寄りましたが、展望もなくひらけてもいなくて、みなさん「本当にここ?」と怪訝そうな表情で、木の上方の小さなプレートを見て「ふ~ん」という反応でした(笑)。休憩は陰のない風吹岩は避けて、少し進んだところによいところがあって休みました。気温も上がるなか、歩いて歩いてようやく雨ケ峠です。ここで昼食にしようという声もありましたが、以前東おたふく山手前の広々としたところに木の陰があったはずと思っていた私は、歩を進めることにしました。行った先は木の陰もなく炎天下、笹が生い茂っていました。心砕けていたところ、Tさんが先に探しに行ってくれて、山頂下の広めの道端で昼食としました。心地よい風が吹いていて、疲れが取れました。

土樋割峠から少し下って、そこから七曲りを登ります。疲れは取れたと思ったものの、暑いし途中「迂回路」表示があってまた登り、ひたすら登って「七曲りってこんなに長かったっけ?」と言いながら、重い足を「よいしょ」と上げて歩きました。やっとのことで一軒茶屋到着です。私は「山頂行く?」と声もかけず、「行こう」という人もいなくて(わざと「行かへんの?」いう人はいました)、トイレ・休憩所の前でゆっくりと休みました。筆屋道を行く予定でしたが、暑さと疲労度から「いつもの道」の魚屋道を下りることにしました。有馬温泉からのバスが 16 時 12 分発で、少々急ぎめで歩きました。有馬稲荷神社へ下りる「近道」を行きましたが、あまり歩かれていないようで少し荒れぎみでした。疲れているときは正規ルート(?)を歩くほうがいいかもしれません。

おいしい梨、生パイナップル、冷えたゼリー等、差し入れをありがとうございました。そのたびに生き返りました。ご参加いただいたみなさん、暑い中お疲れさまでした。ありがとうございました。

特記

夏の東おたふく山は陰なし。昼食は雨ケ峠でとるべし。